

RICOH

デジタルカメラ

DC-2E

使用説明書

ご使用前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。
本書をすぐに利用できるように保管してください。

はじめに

このたびはリコーデジタルカメラ DC-2E をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。本書は、本製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。本製品の機能を十分に活用いただくため、ご使用前に、本書を最後までお読みください。本書が必要になったとき、直ぐに利用できるよう、お読みになった後は、必ず保管してください。

株式会社リコー

テスト撮影について

必ず事前にテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してください。

著作権について

著作権の目的になっている書籍、雑誌等の著作物は、個人的または家庭内およびこれに準ずる限られた範囲内で使用する以外、著作者に無断で複写、改変等することは禁じられています。

ご使用に際して

万一、デジタルカメラやメモリーカードなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書について

このデジタルカメラは国内仕様です。保証書は日本国内において有効です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- ・ テレビやラジオなどからできるだけ離す
- ・ テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- ・ コンセントを別にする

電波障害自主規制について

注意

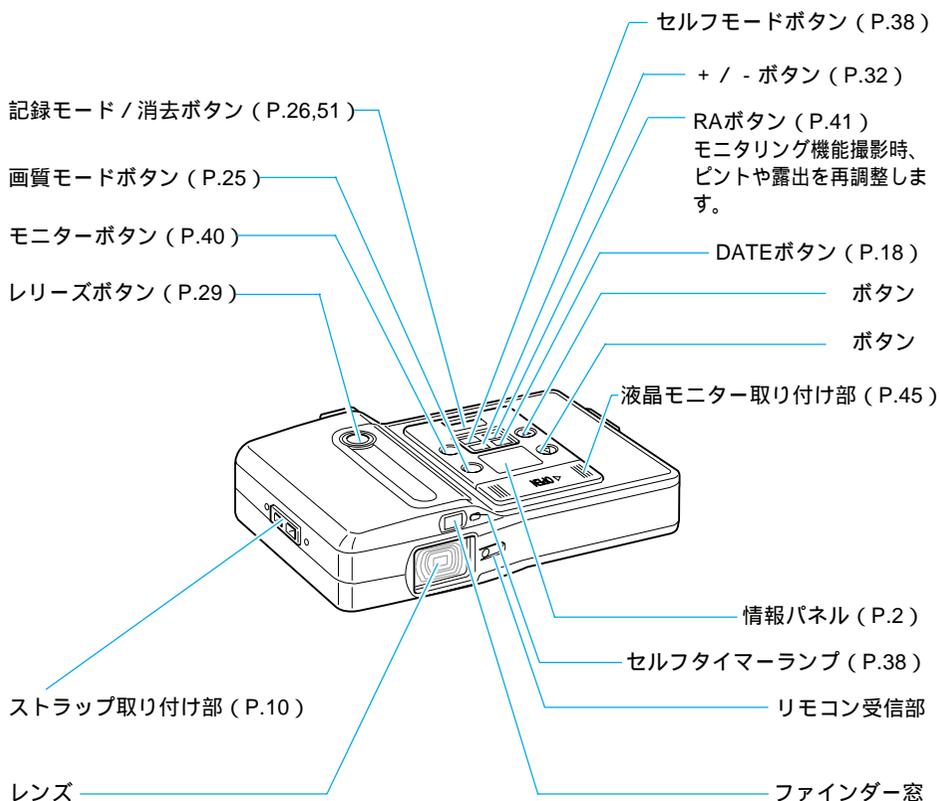
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく第一種情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- ・ 本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。
©1996 RICOH CO.,LTD.
- ・ 本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。
- ・ 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたら、巻末をご覧の上ご連絡ください。

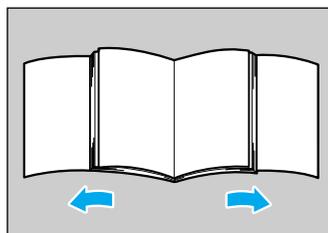
Microsoft、MS、MS-DOS、Windowsは米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Macintosh は、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。会社名、および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

各部の名称 (1)

カメラ本体

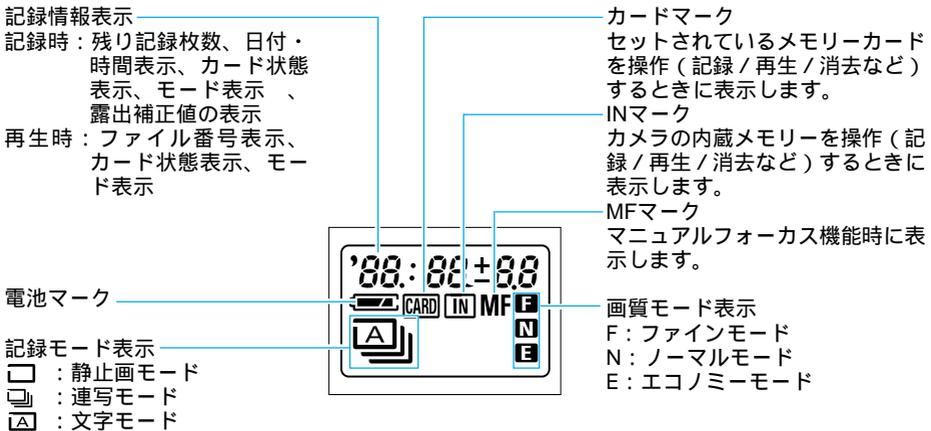


操作の際には、このページを開いてご覧ください。



情報パネルの表示について

情報パネルは、電池の状態や記録可能枚数、設定されているモードなど、カメラの状態をマークや数字で表示します。



- 補足**
- ・この図では、全ての情報を同時に表示しています。実際には必要な情報が表示されます。
 - ・メインスイッチを「記録」にスライドした状態で、約5分以上カメラの操作（ボタンやレバーなどの操作）をせずに放置しておく、節電のため「オートパワーオフ」になり情報パネルの表示が消えます（わずかながら電池を消耗しています）。電源の再投入かリリースボタンを軽く押すと、再び電源が入ります。
 - ・オートパワーオフの設定を変更することもできます。（P.57）

警告表示と内容

次のような警告表示が情報パネルにでたときは、内容をご確認の上、対処してください。

警告表示	状態	内容	参照ページ
no card	点灯	メモリーカードを指定したが、メモリーカードがセットされていない。	P.16
no fo	点滅	メモリーカードが初期化されていない。	P.16
		他の機器で初期化したメモリーカードがセットされている。	
		メモリーカードのデータが壊れている。（初期化してください）	
no rel	点滅	指定以外のメモリーカードがセットされている。	P.14
no copy	点滅	メモリーカードがライトプロテクトされている。	—
	点灯	メモリーコピーボタンを押したときに、メモリーカードに内蔵メモリーの全ファイルをコピーするだけの容量がないときに表示します。メモリーカードを交換してください。	P.16
	点灯	電池が消耗してきている。電池の用意をしてください。	P.11
	点灯	電池が消耗しました。電池を交換してください。	P.11

エラー表示と内容

次のようなエラー表示が情報パネルにでたときは、内容をご確認の上、対処してください。

エラー表示	内 容	参照ページ
Er. rE C	記録に失敗しました。このとき記録したデータは正常に再生できないことがありますので、再度、記録してください。	-
Er. Er oS	消去に失敗しました。メインスイッチを「電源OFF」にしてから再び電源を入れ、1枚テスト撮影してください。テスト撮影したデータを消去すると、消去に失敗したデータも同時に消去します。	P.50
Er. Fo	初期化に失敗しました。再度、初期化してください。	P.16
Er. PL Py	再生に失敗しました。電源を再投入し、再び操作してください。	P.48
Er. CO Py	データのコピーを失敗しました。再度、操作してください。	P.56

撮影・再生・消去・コピーの表示

操作中は、情報パネルに次のような文字が表示されます。

撮影

表 示	機 能	参照ページ
S E L F	セルフタイマー撮影	P.38

再生

表 示	機 能	参照ページ
Pr	プログラム再生	-

* プログラム再生を行うときは、リモートコントローラー（DR-2:別売り）が必要です。

消去

表 示	機 能	参照ページ
Fo	メモリーカード初期化	P.16,52
Er o S E	ファイル消去	P.50

コピー

表 示	機 能	参照ページ
CO Py	メモリーコピー機能	P.56

データチェック中の表示

メモリーカードがセットされている場合、メインスイッチを「記録」または「再生(PC)」にスライドさせると、メモリーカードのデータをチェックします。データチェックの進捗状況に合わせて情報パネルにバー(-)が表示されます。バーが右端まで(6個)表示されるとデータチェックを終了します。

〔補足〕 ・メモリーカードの種類によって、バー表示しないものもあります。

目次

はじめに	
各部の名称 (1)	1
情報パネルの表示について	2
基本操作の流れ早わかり	6
安全上のご注意	7

第1章 準備

お使いになるまえに	10
付属品の確認	10
ストラップの取り付けかた	10
電源について	11
乾電池のセット	11
コンセントで使う	13
メモリーカードについて	14
メモリーカードの種類	14
メモリーカードのセット	16
メモリーカードの初期化	16
撮影の前に	18
日付・時刻を合わせる	18
視度を調整する	19
カメラの構えかた	19

第2章 基本撮影

基本的な撮影	22
操作の流れ	22
電源を入れる	23
記録先のドライブを指定する	24
画質モードを選択する	25
記録モードを選択する	26
ファインダーの見かた	27
ランプ表示について	28
撮影する (静止画モード)	29
露出補正について	32

第3章 応用撮影

記録モードを変更する	36
モード設定のしかた	記録モードを切り替える .. 36
連写モード	静止画を連続的に記録する .. 36
文字モード	文字をきれいに記録する .. 37

いろいろな撮影機能	38
セルフタイマー撮影	セルフタイマーを使って撮影する .. 38
フォーカスロック撮影	ファインダーの端に見える被写体にピントを合わせる ... 39
モニタリング機能撮影	モニターを見ながら撮影する .. 40
マクロ撮影（接写）	近距離で撮影する .. 42

第4章 再生 / 消去

再生の前に	44
テレビに接続する	44
液晶モニターを接続する	45
再生画面について	46
ファイルの再生	48
操作の流れ	48
静止画ファイルの再生	48
連写ファイルの再生	49
ファイルの消去	50
操作の流れ	50
1ファイル消去	50
全ファイル消去	52

第5章 その他

パソコンへの接続	54
メモリーコピー機能を使う	56
カメラの設定を変更する	57
オートパワーオフの設定	57
ブザー音の設定	58
海外旅行にお持ちになる方へ	59
システム構成図	60
別売り品について	62
使用上のご注意	63
お手入れと保管について	64
故障かなと思う前に	65
アフターサービスについて	68
主な仕様	70
記録枚数について	72
各部の名称（2）	75
リコーサービス窓口	77
リコーお客様相談室	77

基本操作の流れ早わかり

準備する

電源を準備する

- ① カメラ本体に電池をセットする P.11
- * ACアダプターを使用するときは、カメラ本体にACアダプターを接続し、コンセントから電源をとる P.13

メモリーカードを準備する

- ① メモリーカードをセットする P.16
 - ② 新しいメモリーカードを使用する場合は、メモリーカードを初期化する P.16
- * 内蔵メモリーに記録するときはメモリーカードの準備は不要です。

撮影する

- ① メインスイッチを[記録]にスライドする P.23
 - ② メモリーカードをセットしたときはメモリー選択ボタンを押して、記録先のドライブを指定する P.24
 - ③ 画質モードボタンを押して、画質モードを選択する P.25
 - ④ 記録モード/消去ボタンを押して、記録モードを選択する P.26
 - ⑤ レリーズボタンを軽く押してピントを合わせる P.29
 - ⑥ レリーズボタンを押しきる P.30
- * 「ピッ」というブザー音が鳴り、記録されます。

再生する

- ① カメラにテレビまたは液晶モニターを使用する P.44、P.45
 - ② メインスイッチを[再生(PC)]にスライドする P.48
 - ③ メモリーカードをセットしたときはメモリー選択ボタンを押して、再生するドライブを指定する P.48
 - ④ ボタンで、再生するファイルを指定する P.49
 - ⑤ 連写モードで記録したものは、レリーズボタンを押す P.49
- * モニターに画像が表示されます。

パソコンへ転送する

接続キットが必要です。準備してください。 P.54
< 詳細は、接続キットの使用説明書をご覧ください。 >

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。

○の中に具体的な禁止内容が描かれています。

表示例



意味：接触禁止



意味：分解禁止

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。



警告



万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態がみられる場合は、すぐにメインスイッチを切ってください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けしないでください。



家庭用コンセントをご利用になるときは、必ず専用のACアダプター(型名:AC-2, AC-2100<別売り>) をご使用ください。指定以外のアダプターでは、火災・感電・故障の原因になります。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

警告



液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一以下の状況になったときはそれぞれの応急処置を行ってください。

- ・皮膚に付着した場合
付着物を拭き取り、水を流しせっけんでよく洗浄してください。
- ・目に入った場合
きれいな水でよく洗い流し、最低15分洗浄した後、医師の診断を受けてください。
- ・飲み込んだ場合
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を与えて吐き出させた後、医師の手当を受けてください。

注意



自分でカメラを分解しないでください。内部には高電圧回路があり、感電する危険があります。



電池は、火の中に入れてたり、ショート、分解、加熱、充電しないでください(ニカド電池、ニッケル水素電池は充電可能)。電池が破損し、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。電池をハンダ付けしないでください。電池が破損し、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。



電池から漏れた液が肌に触れると、火傷の原因になります。破損した電池に触れた場合は、すぐに水で洗い流してください。(石鹼は使用しないでください)
また、液漏れが起こったときは、液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

別売り品について

- ・リモートコントローラーやACアダプターなど別売り品をお使いになるときには、各製品に付属の説明書の「安全上のご注意」を操作の前に必ずお読みください。